

保健体育〔体育分野〕「球技（ゴール型：バスケットボール）」（第1・2学年）

1 目標

- 【技能】 バスケットボールについて、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開できるようにする。
- 【態度】 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。
- 【知識、思考・判断】 バスケットボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

2 「法」に関する教育において育てたい児童・生徒像との関連

＜「法」に対する興味・関心＞

- ・ ルールやマナーを尊重することで、球技独自の安全性や公平性が確保されることや互いを尊重する気持ちが強くなるなど、ルールを尊重することの大切さに興味・関心をもつ。

＜「法」に対する知識・理解＞

- ・ ゲームの基本的なルールが分かるとともに、ルールの公平性などルールの意義を理解する。

＜「法」に基づき社会の形成に参画する態度＞

- ・ ルールを尊重し、フェアなプレイを守ろうとしながら球技に積極的に取り組もうとする。

3 「法」に関する教育とかかわりのある主な指導内容との関連

本単元は、中学校学習指導要領保健体育科〔体育分野〕の第1・2学年の内容「E 球技」の(2)「球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。」との関連を図って設定している。

4 指導計画（全12時間）

時	主な学習活動	主な指導上の留意点 (★「法」に関する教育と関連があるもの)
①	◇オリエンテーションを行う。 ・学習のねらい、進め方 ・学習カードの使い方 ◇ボールの扱いに慣れる。 ・ボールハンドリング ・ボールキャッチ ◇ドリルゲームを行う。 ・シューティングゲーム	○生徒が準備・片付け・練習などの場面において自らの役割を確実に果たすことを通して、個人の規律ある態度が集団の秩序や安心・安全を守ることにつながることに気付くようにする。 ○ボールの重さや硬さに慣れさせることで、けがの防止に配慮する。
② 本時 ③ ④ ⑤ ⑥	◇基本のルールを確認する。 ◇ボールの扱いに慣れる。 ◇ドリルゲームを行う。 ・対面パス ・3対2のパスゲーム ・スクエアパスなど ◇タスクゲームを行う。 (状況判断力の向上を目指して) ・ハーフコート2対1 ・ハーフコート3対2	★過去のルールも例に出しながら、“現在のルール”がゲームを行う上での規範であり、改良されてきたルールであることに気付くようにする。 ★ゲーム中に発生する問題場面を調整するためにルールを確認したり、新たにルールをつくったりしながら、ルールの意義について考えるようにする。
⑦ ⑧ ⑨	◇審判法を学ぶ。 ◇ドリルゲームを行う。 ◇タスクゲームを行う。 ・ハーフコート3対2 ・オールコートファイブクロスなど ◇試合を行う。	★審判法を学ぶことを通して、ルールの意義を理解するとともにチームの秩序・規律を高める気持ちをもつようにする。 ○ドリルゲームやタスクゲームは段階的にレベルを上げていく。
⑩ ⑪ ⑫	◇試合（バスケットボール大会）を行う。 ◇実技練習をする。	★試合で審判の判断に従うとともにフェアなプレイをするように促す。

5 「法」に関する教育と関連がある本時の展開

(1) 本時のねらい (第2時)

- ・「ルールをつくる」「ルールは変えられる」「つくったルールは守る」「ルールが守られなかったときにはどうするか」という視点からルールについて興味・関心をもち、ルールの意義について考えることができるようにする。
- ・ボールの扱いや基本のシュートなどゲームに必要な基礎的な技術を高めることができる。

(2) 本時の展開

学習活動と内容	指導上の留意点 (★「法」に関する教育と関連があるもの)	評価
<p>1 準備をした後に集合・整列し、準備運動をする。</p> <p>2 基本的なルールを知る。 ・ボールの扱い方について ・得点について →エリアごとの得点 ・ファールについて →ダブルドリブル →トラベリング →パーソナルファール</p> <p>3 ルールの意義について考え、学習ノートにまとめ、発表する。</p> <p>4 ボールの扱いに慣れる。 ・ボールハンドリング ・ボールタップ ・ドリブルリレー</p> <p>5 ドリルゲームを行う。 ・パスゲーム ・対面パス ・3対2のパス回し ・シュートゲーム ① “目指せ、ゴール下成功率100%” ② “制限区域外(ミドル)シューティングゲーム” ※パートナーが学習ノートにドリルゲームの結果を記入する。</p> <p>6 整理運動をする。</p> <p>7 本時のまとめを行い、次回への課題について確認する。 ※本時を振り返り、次回への課題を学習ノートに記入する。</p>	<p>★準備や練習の場面において、自らの役割を確実に果たすように促す。</p> <p>★草創期にはドリブルが存在しなかったこと、ボールを保持して歩くことができなかったことなどのルールを紹介し、ねらいに示した視点からルールを分析し、興味・関心をもてるようにする。</p> <p>★他の生徒の考えを聞き、ルールの意義に気付くようにするとともに、今後のプレイでルールを尊重するように助言する。</p> <p>○ボールの扱いに慣れるために、ゲームの要素を取り入れながら、生徒の集中力が持続できるようにする。</p> <p>○対面パスは手首の使い方への意識を高め、パス技術の向上を心掛けるように助言する。</p> <p>○3対2のパス回しは空いているスペースを意識して練習するように助言する。</p> <p>○ゴール下からのシュートはバックボードをしっかり使って行うようにすることや、ミドルシュートは弧を描くようにシュートを打つようにすることを指導する。</p> <p>★ルールに対する理解、意欲や技能面についての振り返りの視点を提示する。</p>	<p>【思考・判断】 <input type="checkbox"/> バスケットボールの“過去”と“現在”のルールに興味・関心をもち、ルールの意義について考えている。 (学習ノート、発言)</p> <p>【技能】 <input type="checkbox"/> シュートゲームやパスゲームを通して、シュート、パス、ドリブル、ピポッドなどの基礎的な技術を高めることができている。 (観察)</p>

保健体育科〔体育分野〕「球技（ベースボール型：ソフトボール）」（第3学年）

1 目標

- 【技能】 ソフトボールについて、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能や仲間と連携した動きでゲームを展開できるようにする。
- 【態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。
- 【知識、思考・判断】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

2 「法」に関する教育において育てたい児童・生徒像との関連

＜「法」に対する興味・関心＞

- ・ルールやマナーを遵守することで、球技独自の安全性や公平性が確保されることや友情を深めたり連帯感を高めたりするなど生涯にわたり運動を継続するための重要な要素となることなど、ルールを尊重することの大切さに興味・関心をもつ。

＜「法」に対する知識・理解＞

- ・ソフトボールのゲームを通して、ルールの公平性などルールの意義について理解を深める。

＜「法」に基づき社会の形成に参画する態度＞

- ・作戦について話し合う中でルールを積極的に利用したり、ルールを尊重しフェアなプレイを大切にしようとしたりしながら球技に自主的に取り組もうとする。

3 「法」に関する教育とかかわりのある主な指導内容との関連

本単元は、中学校学習指導要領保健体育科〔体育分野〕の第3学年の内容「E 球技」の(2)「球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。」との関連を図って設定している。

4 指導計画（全9時間）

時	主な学習活動	主な指導上の留意点 (★「法」に関する教育と関連があるもの)
①	◇オリエンテーションを行う。 ・学習のねらい ・学習の進め方 ・約束ごとの確認 ・学習カードの使い方 ・評価の方法 ◇これまでの学習を振り返る。 ・キャッチボール ・トスバッティング ・ノック ・ベースランニングなど	○生徒が準備・片付け・練習などの場面において自らの役割を確実に果たすことを通して、個人の規律ある態度が集団の秩序や安心・安全を守ることにつながることに気付くようにする。 ○キャッチボール、トスバッティングなどの技術的な練習を行い、ソフトボールの感覚に慣れるようにする。
② ③ ④ ⑤	◇実践練習をする。 ・ダブルプレイ ・外野からの中継プレイ及び進塁先のベースカバー ・体の軸を意識した打撃 ・フリーバッティング ・円を描く走塁練習	○連携した守備によるダブルプレイの練習を行う。 ○中継プレイではボールを持っていないときの動きに焦点を当て指導を行う。 ○走塁練習では“左足でベースを踏む”“重心を内側に傾ける”“ふくらみを利用して走る”などを指導する。 ★フェアなプレイやルールを尊重する態度が友情を深めたりチームの連帯感を深めたりすることを体感できるようにする。
⑥ 本時 ⑦ ⑧ ⑨	◇作戦会議を行う。 ◇ゲームをする。 ◇ ゲームごとに学習を振り返り、評価する。 ・確認する必要があるルール ・新たにつくりかえる必要があるルールなど	★ゲームに向けて自分のチームの作戦について話し合う中でルールを積極的に利用する態度や合意を形成するための適切なかかわり方を実践する態度を育成する。 ★ゲーム中に発生する問題場面を調整するためにルールを確認したり、新たにルールをつくらしたりしながら、ルールの意義について考えるようにする。

5 「法」に関する教育と関連がある本時の展開

(1) 本時のねらい (第6時)

- ・状況に応じて必要な場合はルールの変更を行うとともに、作戦について話し合う中で合意を形成するための適切なかわり方を身に付け、話し合いに貢献しようとする。
- ・ゲームにおいて安定したバット操作をすることができる。

(2) 本時の展開

学習活動と内容	指導上の留意点 (★「法」に関する教育と関連があるもの)	評価
<p>1 準備をした後に集合・整列し、準備運動をする。</p> <p>2 ルールについて話し合う。 ・授業でこれまで扱ってきたルールを振り返り、必要な場合はルールの変更を行う。</p> <p>・人数の都合で、投手を味方のチームから出した場合に、味方全員がバッティングをしっかりできるけれど、撃った打球を投手が処理する場合はどのようなルールにしたらよいのか。</p> <p>3 キャプテンを中心に、チーム全員で作戦会議を行う。 ・打順、守備位置、サイン、サインを出す生徒、相手のチームの特徴を考慮した作戦などを話し合う。</p> <p>・相手チームは野球経験者を外野に集めていたから、ランナーが出たらバントを多く使っていこうよ。</p> <p>4 ゲームをする。 ・ゲームの時間は30分とする。 ・ルールやマナーを守る。 ・フェアなプレイを大切にする。 ・お互いの取組みを称賛する。</p> <p>5 整理運動をする。</p> <p>6 本時のまとめとして、チームごとの話し合いを行い、その内容を学習ノートへ記入する。</p> <p>7 次回への課題について確認する。 ・まとめを踏まえ、次回への課題を明確にする。</p>	<p>○補強運動の中でキャッチボールやトスバッティングなどを取り入れるようにする。</p> <p>★授業でこれまで扱ってきたルールについて公平性などの観点から、変更する必要があるか考えるように助言する。</p> <p>・野球経験者が多いチームは、攻守を交代するときのアウトカウントの数を変えた方がよいのではないか。</p> <p>○作戦について話し合う場面では、相手のチームを尊重しながら発言したり、提案者の発言に同意したりしながら話し合いを進めることが大切であることに気付くようにする。</p> <p>・賛成だね。三塁までランナーが進んだらスクイズで確実に点数を取ろうよ。</p> <p>★決められたルールやマナーを守り、フェアなプレイを大切にしてゲームを行うように促す。</p> <p>○仲間と合意した作戦や役割について責任をもって自主的に取り組んでいる生徒を賞賛し、全体に広げていくようにする。</p> <p>○まとめのポイントとして、チームの作戦の実践状況や自分自身の役割を果たすことができたかなど振り返りの視点を提示する。</p> <p>○まとめを踏まえて、次回、チームや自分自身の課題と練習方法について合意形成できるように話し合うように促す。</p>	<p>【思考・判断】</p> <p>□ゲームを行う状況に応じてルールの変更について考えている。 (学習ノート、発言)</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>□話し合いの場面で自分の考えを述べたり、相手の意見を聞いたりするなど合意を形成するためにチームの話し合いに積極的に関わろうとしている。 (観察)</p> <p>【技能】</p> <p>□身体の軸を安定させてバットを振り抜くことができる。 (観察)</p>